

翻訳の境界と共感 — 声と音を翻訳する —

現代日本文学翻訳国際フォーラム2018開催!

文化庁では、現代日本文学の優れた翻訳者を発掘・育成する事業「JLPP」を通じて、豊かな経験と深い知見を持つ文学者、翻訳者、海外出版社編集者などとの交流を培っています。本フォーラムでは、文学翻訳の領域を、演劇、映画、漫画、エンターテインメント小説にまで広げ、日本語翻訳の可能性を探ります。

第1部

英米仏の編集者が注目する現代日本文学

英・米・仏の出版社編集者が注目する作家、日本文学の翻訳出版について討論する。

※逐次通訳有り

司会：サム・ベット氏(翻訳家)

パネリスト：デボラ・スミス氏(「Tilted Axis Press」発行人(UK))

ユカ・イガラシ氏(「Soft Skull Press」編集長(US))

スーザン・ハリス氏

(「Words Without Borders」編集ディレクター(US))

マニュエル・トリコト氏

(「Éditions Actes Sud」編集者(FR))

ダナ・ビュルラック氏(「Éditions Denoël」編集者(FR))

第2部

町田康 講演

「文学と音楽と映像と」

芥川賞作家、ミュージシャンである町田康氏が、『パンク侍、斬られて候』の英訳翻訳出版や映画化について語る。

町田康×パトリック・オノレ対談 「言葉のビートを翻訳する」

町田康氏の作品『告白』をめぐる、翻訳家パトリック・オレノ氏との翻訳論。



1962年大阪府生まれ。1981年、パンクロック・バンド、INUのヴォーカリストとしてデビュー。1996年に初小説『くっすん大黒』を発表、翌年ドゥマゴ文学賞、野間文芸新人賞を受賞。2000年『きれぎれ』で芥川賞、2001年『土間の四十八滝』で萩原朔太郎賞、2002年『権現の踊り子』で川端康成文学賞、2005年『告白』で谷崎潤一郎賞、2008年『宿屋めぐり』で野間文芸賞を受賞。著書に『夫婦茶碗』、『パンク侍、斬られて候』(2018年映画化公開)、など多数。

第3部

せりふと音と映像の翻訳

演劇、映画、漫画、エンタメ小説、ゲームなど、日本語の持つ魅力と翻訳の難しさ、そして新たな可能性を探る。

司会：イアン・マクドナルド氏(翻訳家)

パネリスト：マチュー・カペル氏

(日仏会館・フランス国立日本研究所研究員)

平野共余子氏

(元NYジャパンソサエティー映画部門ディレクター)

セバスチャン・ブロイ氏

(研究者、ドラマトルク)

アレクサンダー・O・スミス氏

(ゲーム、エンタメ小説、漫画等の翻訳・出版社代表)

平成30年10月20日(土) 12:00~16:30

【会場】 山の上ホテル「銀河」(東京都千代田区神田駿河台1-1)

【定員】 120名 【参加費】 無料

【申込】 参加ご希望の方は、10月15日(月)までに、下記JLPPホームページの「参加申込」または、FAX: 03(3295)6065よりお申し込みください。

お名前、職業、連絡先メールアドレス又は電話番号を明記してください。

URL: <https://www.jlpp.go.jp>

【問合せ先】 JLPP事務局 e-mail: jlpp_office@jlpp.go.jp



J A P A N E S E
L I T E R A T U R E
P U B L I S H I N G
P R O J E C T

